

東播磨

明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町

きらっとVision

第11号

東播磨地域ビジョン情報誌



東播磨ものづくり探訪会 (住友精化(株)別府工場)



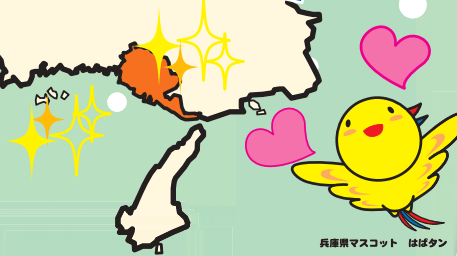
ビジョンフェスタ in 東播磨



普通救命講習 in トライやるウィーク

HIGASHI-HARIMA VISION

AKASHI
KAKOGAWA
TAKASAGO
INAMI
HARIMA



兵庫県マスコット はばたん



海の学習・干潟の生き物観察



東はりまの歴史と文化を学ぶ (鶴林寺)



ハートランド弁論大会

CONTENTS

- ★ 実践活動グループの取組を紹介
- ★ 東播磨地域ビジョン委員長、プロジェクト・チームリーダーからのメッセージ
- ★ 情報発信! ビジョンスポークスマン活動を紹介
- ★ ズームアップ! ~ビジョン活動と地域団体の連携~
- ★ きらっとコラム ~実現に向けて~

実践活動グループの取組を紹介



第8期の2年間、東播磨地域ビジョンの実現に向けて、ビジョン委員を中心とした16の実践活動グループが多彩な地域づくり活動に取り組みました。そして、これからも豊かな自然と共生し、快適に生きていける「水辺・ものづくりのまち」をめざし、積極的に「東播磨」づくりを進めていきます。

1.心地いいまち（暮らしづくり）

法華山谷川流域の“防災・減災” & 自主防災会の活性化と連携

グループ：地域防災・減災推進グループ

平成23年の台風第12号による法華山谷川の浸水被害を契機に、安全安心を実感できるまちづくりに取り組んでいます。具体的には、災害への備えとして地域連携による自主防災組織の活性化や、防災研修会・防災訓練を通じて住民へ向けた啓蒙活動、営農者による豪雨時の田んぼダムの取組、ため池の事前放流、調整池の管理などの取組です。また、河川に影響を与える「里山の環境（保水機能・土砂崩れ）」に視点をおき、神吉町内会にお世話になり、神戸学院大学生と一緒に、神吉山と高砂市市ノ池公園のフィールドワークを実施しました。里道の管理や自然木を活用した炭焼き場、養蜂箱の設置などを見学し、里山の環境保全とともに、コミュニケーションの場づくりにもなっているなど、工夫が凝らされており、大変貴重な学びとなりました。

そして、第8期2年間の総括として、法華山谷川流域を取

り巻くため池や、サイフォン式水路、内水対策のポンプ設備などにスポットを当て、「写真パネル展」の開催に取り組んでいます。宅地化が進み、河川の関心が希薄化している現在、次代へ継承し、「防災・減災」文化の醸成は極めて重要です。「備え」の第一歩であります。



神吉山のフィールドワーク

倒壊家屋救出訓練

体感プログラム「未来志向の防災・減災」 グループ：東播磨防災チーム

「東播磨防災チーム」は、防災士・応急手当普及員の有資格者が、東播磨地域の各種団体を対象とした防災講習や応急手当講習などを行っています。第8期1年目は、流行にとらわれた講習がメインでしたが、「これではダメだ!」「真の防災・減災普及につながらないのでは?」と方向性を見直して、「防災・減災の原点に戻り、「地域の現状を知り、正しく恐れる」をテーマに、ワークショップ形式で基本から学び、災害備蓄品などを展示・説明することで、災害発生時を模擬体験してもらい、意識啓発とスキルアップを図りました。今年度は、

町内会やPTAなど、地域に重点を置き、年配者をはじめ、子を持つ親世代、子どもたちが老若男女を問わず、同じ内容を学び共通認識を持てるように心掛けました。

また、次世代の担い手育成にも力を入れ、トライやるウィークで中学2年生を対象とした普通救命講習を実施し、計35名の修了者を育てました。さらに、中学生や保護者、地域住民、行政を巻き込んだ「防災プログラム」を企画・運営し、参画と協働の足がかりをつかむことができました。



防災・減災学習会



普通救命講習 in トライやるウィーク

安心して暮らすためのまちづくり ～結びつきの再生活動～

グループ：地域の結びつき応援隊

「地域の結びつき応援隊」は毎月1回（第2日曜日13時30分～15時00分）、「ぬくもりカフェ」を開催しています。「ぬくもりカフェ」とは、15～20名程度の地域住民の皆さんが集まり、友好を深めるとともに、地域の課題などについて話し合っています。9月にみんなで童謡を歌い、親睦を深めました。10月には防災ボランティア活動を行っている高校生に来てもらい、その体験談をお話しいただきました。11月にはロコモティブシンドローム（運動器症候群）をテーマに、運動習慣の大切さについてお話しその後、平均年齢80歳のダンスユニット「花びら」さんを交えて、体操やダンスを行いました。「花びら」さんの体験談は、地域の皆さんにとって励みになりました。さらに12月には地域のボランティアグループ「沖代すすめの会」の地域活動事例DVDを視聴し、地域活動のあり方について、参加者を交えて話し合いました。お互いが寄り添い、ささえあうことが、自らの健康や、安全安心を実感できる暮らしにつながることを学ぶことができました。



「ぬくもりカフェ」では、地域課題などについて考える機会を持ってもらい、安心して暮らすことができる地域づくりにつながっていかれたらと思っています。今後とも引き続き、第2日曜日13時30分から15時00分の間、「ぬくもりカフェ」を開催しますので、ご興味のある方は、ぜひ参加してください。

2.楽しいまち（人づくり）

ネットワークで地域連携支援活動

「ハートランドぐり石ネット」は、参画と協働の考え方をベースに、いつも“楽しい”東播磨の実現をめざして描いた“夢”を現実に近づけるため、中間支援に関する取組を展開しています。具体的には、「ボランティアの井戸端会議」「坐禅とワークショップ」「てくてくハイク」「パソコン楽習塾」といった活動を柱とし、①人と人の交流をはじめ、②自らが源泉・情熱をもって取り組む、③地域の人が活躍できる舞台をつくる、④1人の100歩より、100人の1歩を大切にすること意識して、諸活動に取り組んでいます。12月3日（日）には、播磨町ことぶき大学のボランティアガイドの皆



グループ：ハートランドぐり石ネット

さんとコラボして、「てくてくハイク in 播磨町」を開催し、50名の参加者を交えて史跡などを巡りました。

第8期では、これまで積み上げた“15年”という歴史を振り返り、これから地域づくり活動に取り組まれる皆さんの参考となることをめざして、記念誌「15周年記念・活動のあゆみ」を発刊しました。事実を冷静に振り返り、次代につなぐ目的を込めています。ぜひ、活用いただけたら幸いです。



弁論大会を通じて子どもの思いを世間に伝えるとともに、 地域社会において自らができることを考えてもらうプラン

グループ：ハートランド弁論大会実行委員会

「子どもとともに地域をつくる」という基本理念のもと、子どもの思いを聞き、考えを理解するとともに、地域社会に対する子どもの意識を醸成するため、東播磨3市2町（明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）の中学生を対象とした弁論大会を開催しています。また、その様子や、中学生の熱い想いをDVDや文集として残す取組も実施しています。



中学生の発表

東播磨地域ビジョン委員会の発足当初から活動を続け、今年で16回目を迎えました。この大会は、東播磨青少年本部と共催し、県大会、近畿大会及び全国大会へつながる「少年の主張」の東播磨大会として、多くの学校から作品の応募があります。今年は、15校の1,143作品の中から、書類審査を経た13名が8月11日（金）、加古川総合庁舎5階会議室で家庭生活や学校生活を通じて感じたことなど、熱い思いを堂々と発表されました。大会の優勝者は9月23日（土）、兵庫県民会館で開催された県大会に、東播磨地区代表者として出場しています。



表彰式

楽しく多彩に学ぶ交流チャンネル グループ：らくがく倶楽部

「らくがく倶楽部」はこれまで、地域の人財を発掘・共有し、ニーズを“つなぐ”ことをめざして、高砂市民病院で「春の公演会」（平成28年4月）や特別養護老人ホームせいりょう園で「クリスマス会」（平成28年12月）などを開催するに当たり、施設と音楽家の橋渡しを行ってきました。また、“つなぐ”の基礎となる、東播磨地域の歴史と文化を学ぶために、鶴林寺での法話など、この2年間で計4回の学習会も開催しました。このような“つなぐ”という経験やノウハウをもとに、平成29年度から新しい取組を展開しています。

私たちは、それを「東播磨地域文化施設・ネットワーク化構想」と呼んでいます。東播磨地域の異分野文化施設のネットワーク化を図ることで、地域独自の新しい文化空間を生み出そうという試みです。まず、施設間の人的交流や連

携が必要です。12月17日（日）、加古川総合文化センターで東播磨地域の文化施設が一堂に会し、「便利で楽しい文化施設大集合」という、子どもを対象とした催しを開催しました。これをきっかけに、ますます人的交流を進めるとともに、文化施設間の恒常的なネットワーク化の構想を図っていきたいと考えています。

“つなぐ”から“つむぐ”へ、少しずつ着実に発展させていきます。



クリスマスリースやブーケをつくる子どもたち



つなぎ隊



便利で楽しい文化施設大集合

夢のたねプロジェクト わくわくドキドキ感動体験

グループ：夢のたね

「夢のたね」は、職業体験を通じて夢見る力を芽生えさせることを願い、東播磨地域の小学校で「職業人と語ろう」を開催しました。学校行事の一環として開催することが多い活動ですが、子どもたちに良い体験を届けたいという熱い思いを持った学校の先生をはじめ、職業人講師、地域の皆さん、そしてメンバーが団結することで、活動期間はいつの間にか、10年を超えています。

関わる人々が、ボランティアで運営する活動であることから、誰か一人でも熱い思いを失ってしまうと、継続が難しくなる要素もありますが、今年度から職業人講師の連絡先をリスト化した「職業人ナビ」を作成し、準備の負担を少しでも減らそうという取組も行っています。東播磨全域に広がっていくためには、職業人の人数がまだまだ不足している状況ではありますが、これからも地道に活動を続けることで、

リストのページ数を増やしていきたいと思っています。

子どもたちが、自分自身の将来について真剣に考え、夢を持ち、叶えていく力を育てていくお手伝いができるよう、夢のたねはこれからも、活動を展開していきます。



論語に学ぶ グループ：仁讓塾（論語素読会）

「仁讓塾（論語素読会）」は毎月、申義堂（高砂市）と加古川総合庁舎で論語の素読教室を開催しています。どちらも第7・8期の4年間で、全20篇499章の論語を2回ずつ通読することができました。小学生を対象とした「小学生論語素読会」では、はじめてである論語の意味や、「歴史と人物に学ぶ」と題して日本の古典文学なども学んでいます。「論語素読教室」では、論語の素読・解説に加えて、漢詩と吟詠も学んでいます。これまで、新聞社やケーブルテレビ局の取材を受け、各メディアでも取り上げていただきました。

「縁尋機妙」という言葉があります。長く続けてこられた方がほとんどですが、新しい方も一人二人と参加されています。その中には、有徳の士がおられ、子どもたちのため、学校図書館に仮名論語を寄贈していただきました。また、一隅を照らすものでありたいとの思いで活動してきましたところ、仁讓塾（論語素読会）が先駆けとなり、東播磨で4つの論語講座が誕生しました。一灯が五灯となったことに、大きな喜びを感じるとともに、これからも微かなりとも、一隅を照らしていきたいと考えています。



東播磨に駒音を響かそう グループ：東播磨に駒音を響かそう

「東播磨に駒音を響かそう」は、子どもの思考力や集中力、判断力、忍耐力などを養う将棋の普及に取り組み年1回、「東播磨少年少女将棋大会」を開催しています。7月17日(月)、「第10回東播磨少年少女将棋大会」を開催しました。空前の「藤井四段ブーム」の影響で、参加者は60名を超え、盛況な大会となりました。次回以降も、さらなる発展を見据え、準備したいと思います。

また、12月23日(土)には「将棋団体交流会」を開催しました。今回初参加の団体もあり、旧交を温めるとともに、世代間交流を進めることができました。より多くの参加者を見込むために、開催時期の検討が今後の課題と思われれます。



村田智弘六段の指導対局

3.美しいまち (まちづくり)

東播磨の豊かな水辺を守り伝える グループ：水辺に学ぶプロジェクト

「水辺に学ぶプロジェクト」は、東播磨の美しい水辺環境を次代につなぐため、主に3つの活動を実施しています。毎年7月、加古川河口干潟を舞台に小学生とその保護者を対象とした体験型環境学習「海の学習」を開催しています。高砂市青年の家で、干潟の生き物について学び、干潟に移動後、干潟の生き物観察班と投網教室班に分かれて体験学習しています。子どもたちだけではなく、保護者の方も目をキラキラ輝かせています。

石市海岸課事業調整担当課長を講師に迎え、参加者を交えて活発な意見交換を行いました。



干潟の生き物のお話



投網教室

2つ目は、「語ろう会」です。県民の皆さんと水辺管理者が、水辺環境の地域課題を共有し、協働して課題解決をめざすものです。平成29年度は、「東播海岸の未来を語ろう会」を開催し、国土交通省姫路河川国道事務所副所長と明



講演

東播海岸の未来を語ろう会

3つ目は、希少植物の保全活動です。ハマボウフウ(海浜植物)とカワラナデシコ(河川敷植物)の育苗や現地植栽、周辺の除草などの保全活動を行っています。



ハマボウフウの種まき



ハマボウフウ

4.力強いまち（活力づくり）

JR加古川線沿線の活性化を図る グループ：歌声列車の会

「歌声列車の会」は、JR加古川線の利用促進を目的に、第8期の2年間で計4回の「歌声列車」を走らせました。また、丹波・北播磨地域との交流促進を図り、お互いの地域観光資源の発掘をテーマに、三地域連絡協議会を数回開催しています。

加古川線の電化1周年だった2005年から始め、20回目となる「歌声列車」の運行（3月4日（日））を記念して「JR加古川線ガイドマップ」の発行を計画しこの1年間、メンバーはもちろん、兵庫大学の学生の皆さんも交えて取材・編集を行ってきました。地域ビジョン委員会と兵庫大学の地域連携の成果であるガイドマップは、若い感性とビジョン委員による匠の技で見事なものに完成しました。「第20次歌声列車」の参加者などに配布し、冊子を片手に、再び

JR加古川線沿線を訪れてくれることを期待したいところです。

また、新しい取組として加古川商工会議所建設部会主催のワークショップに、ビジョン委員数名が参加し、東播磨地域の課題解決に向けて挑戦しています。第9期東播磨地域ビジョン委員として選ばれた委員の皆さんの手で、「歌声列車の会」が新しく生まれ変わり、より進化していくことを、メンバー一同願っています。



地産・地消をひろげ、賑わいを作ろう

グループ：東播磨食の発見

第8期から心機一転、「東播磨食の発見」に名称を変更し、地元の農林水産物の普及啓発に取り組みました。1つは、「ヘアリーベッチ米」です。ヘアリーベッチ米は、マメ科植物「ヘアリーベッチ」を使ったお米で、化学肥料に頼らずに生産し、余分な温室効果ガスを排出しない、地球にやさしいお米です。加古川農業改良普及センターや営農組合、兵庫大学の学生の皆さんと連携して試食ブースの運営や、料理教室の開催などに取り組みました。また、10月30日（月）、西神吉認定こども園で、JA兵庫南・営農組合の皆さんと「かまどで

できました。

もう1つは、「八幡厄神パスタ」です。「八幡厄神パスタ」は、日本初の純国産デュラム小麦「セトデュール」を使った純国産パスタです。八幡営農組合が平成29年1月、試験販売を始めたことを知り、5月20日（土）、にじいろふぁ～みんで料理教室を開催し、紹介させていただきました。11月4日（土）・5日（日）には、同営農組合が「ひょうご特産品フェア」でブース出展するに当たり、試食コーナーを受け持ち、PRを行いました。地産地消を推進するためには、地域団体や企業、行政などとの連携が大切です。今回、様々な主体とつながることができたことは、今後の活動にぜひ生かしていきたいです。



東播磨ものづくり探訪会 グループ：東播磨ものづくり応援団

東播磨地域は、日本を代表する大企業や、優れた技術力を有する中堅・中小企業、全国三大産地を形成している靴下製造業などのものづくり産業が集積し、発展してきました。そこで、「東播磨ものづくり応援団」を立ち上げ、ものづくり企業の見学会を企画・実施しています。また、参加者を対象とした事後アンケートを実施し、市民目線での評価をフィードバックすることで、ものづくり企業を応援しています。第8期は、東播磨3市2町（明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）の商工会議所・商工会を訪問し、取組を紹介するなど、連携を密にして、探訪先の企業を紹介していただきました。

平成29年2月10日（金）、第8期3回目として、(株)日本ネットワークサポートを見学しました。会社名から想像でき

ませんが、金属製品やコンクリート製品などの製造・販売を行っており、ものづくりの原点を見た気がします。ハミガキやハブラシでお馴染みのライオン(株)明石工場（6月22日（木））は、化学品を製造している関係上、衛生管理が隅々まで行き届いており、とても清潔でした。住友精化(株)別府工場（10月6日（金））では、パイプラインを横目に、マイクロバスに乗車しての見学です。学生時代の化学の授業を思い出しました。さらに、電源開発(株)高砂火力発電所（11月29日（水））では、発電所設備を間近で見学し、ボイラ・タービン棟や発電機の大きさに圧倒されました。発電機は、止まることが許されないため、人的な対応も万全を期しておられるとのこと。今後も、企業や地域の皆さんにご理解とご協力をいただき、この活動を「産業ツーリズム」まで発展させたいと思っています。



サイクルツーリズムルートプラン グループ：輪友ネット

「輪友ネット」は、姫路明石自転車道のサイクリングロードを中心に、海・公園や神社史跡、飲食店など、東播磨の地域資源を盛り込んだ地図づくりに取り組みました。東播磨の魅力を発信し、多くの人にサイクリングを楽しんでいただくことを目的に、楽しい仲間と試走を重ね、その内容をまとめています。発行には県加古川土木事務所のご理解と大きな支援をいただき、地図「さわやかサイクリング東はりま南回廊」を完成することができました。また、新聞にも大きく取り上げていただき、1,000部発行した地図があったという間に多くの人の手に渡りました。メディアの力を初

めて知ることとなりました。

「さわやかサイクリング東はりま南回廊」は、自転車愛好家だけではなく、ママチャリや貸し自転車で、家族や友人と自転車散歩（ポタリング）する人も、オススメスポットを巡り、楽しんでいただけます。ゆっくりと走ることで、いつの間にか長い距離を走れます。その自信がいたら、健康にも良いですね。皆さん、ぜひ走りましょう!



めざせ！東播磨子ども観光大使 グループ：子どもゆめの花

子どもたちが、住んでいるまちに誇りを持ち、その良さを発信できるようになってほしい。そんな願いを込めた活動が「めざせ！東播磨子ども観光大使」です。地域の名所を巡る体験講座を開催し、東播磨の子ども観光大使を育てています。平成29年度から、活動の場を東播磨から兵庫県全域に広げるなど、年々バージョンアップしながら活動しています。

今年度は、計8会場で開催し、それぞれのテーマは、「天満神社の秘密をさぐる（稲美町）」「別府鉄道を歩こう（播磨町）」「加古川で生き物調査（加古川市）」「銀山のまちたんけん（朝来市）」「パティシエ体験（明石市）」などで、相生市・姫路市では観光パンフレットづくりを行いました。また、BAN-BANテレビに子ども観光大使を紹介する



番組枠を作ってもらい、体験して学んだことを発信できたことは大きな成果です。さらに、7月に静岡県で開催された、全国各地の子ども観光大使が集まる大会にも、4名が出席し、姫路城と洲本城について英語で発表しました。同大会のご当地観光チャレランブースでは、「棋士のまち加古川」にちなんで、将棋の駒を何個積み上げられるかを競う遊びを出展しました。

平成30年1月には、1年後のラグビーワールドカップに向けて、ノエビアスタジアム神戸の見学など、ラグビーを楽しむ講座を開催します。その翌年には、東京オリンピックも開催されます。世界中から訪れる外国人に、日本の良さを伝えることができる子どもになってほしいと願っています。



ふるさとの魅力とにぎわいづくり グループ：ふるさと見せ隊・知らせ隊

平成28年度から、多くの人々に東播磨地域の魅力を体験してもらいたいという想いで、まちめぐりはじめ、商店街めぐり、寺家町商店街での「時代パレード」などを開催しています。

平成29年度は、当初予定していた地場産業体験などを開催できませんでしたが、12月3日（日）には寺家町商店街の誓文払いの日にあわせて「時代パレード」を無事開催することができました。寺家町商店街の誓文払いは、明治時代に始まり、今回で127回目。全盛期には、東播磨全域から数万人の買い物客が訪れて、加古川駅前から寺家町商店街は、人の波で賑わったそうです。そこで、江戸時代には大名

行列も通ったという、旧西国街道でもある寺家町商店街を、甲冑姿をはじめ、着物姿や現代姿など、各時代の服装で練り歩くことで、賑わいを取り戻せたらと始めたのが、「時代パレード」です。今回は、「宍粟山崎手作り甲冑の会」の皆さんの協力を得て、計20名余りの甲冑姿で行列をなし、誓文払いを賑わせることができました。これからも、年末の恒例行事として根付くまで、「時代パレード」を開催し続けたいと思っています。お時間が合えば、皆さんもぜひ参加してください。



第8期東播磨地域ビジョン委員会を振り返って

第8期東播磨地域ビジョン委員長 高橋 賢吉



第8期東播磨地域ビジョン委員会は、住みよい暮らしをつくる「心地いいまち」、こころ豊かな人をつくる「楽しいまち」、品格のあるまちをつくる「美しいまち」、創意工夫を生む活力をつくる「力強いまち」という4つ

の将来像の実現をめざす分科会を充実させることで、個人や実践活動グループ間のつながりを深め、「私たちが、東播磨地域に強い愛着を持って生活できるとともに、この地域で生活することを誇りに感じることができるよう存在感のある東播磨”づくり”に取り組んできました。

継続・新規をあわせて、16の実践活動グループが

従来からの取組に加え、新しい取組を企画・実施しました。また、「私たちが生き生きと輝く地域をつくりましょう」をテーマに、今までにない新しい取組として「ビジョンフェスタ in 東播磨」を開催し、東播磨地域ビジョンの実現をめざした取組を紹介するなど、次期につながる取組となったことと思います。

4月から始まる第9期は、より一層、“東播磨地域とここで生きる私たちが輝き、魅力的になるよう、一人ひとりが地域に関心を持ち、地域の課題や資源に着目し、それぞれが持つ多様な個性、多彩な能力を生かす”東播磨地域ビジョン委員会になることを祈念してやみません。

プロジェクト・チームリーダーからのメッセージ

山口 恵子
広報チームリーダー

情報誌の発行に限らず、情報を発信したいという想いで、各実践活動にできるだけ参加し、取材した内容をまとめ、積極的なFacebook投稿に努めました。また、情報誌「きらっとVision」では、「東播磨地域ビジョンってどんなもの?」という皆さんの疑問に、少しでも答えられたらと、正副委員長と分科会座長に、座談会形式で意見交換してもらい、その様子を掲載するなど、新しい試みにも挑戦できたと思います。

リーダーというものの、編集のことなど分からない私ですが、メンバーをはじめ、多くの皆さんのご協力を得ることで、成し遂げることができました。活動を通じて学ぶことも多く、私のやりがいにもつながった2年間でした。



真利 礼子
ビジョン室管理運営チームリーダー

皆さま、ビジョン室を利用されたことはありますか?平日の13時から16時の間、管理運営チームのメンバー(20名)が当番制で常駐し、実践活動の問い合わせ対応や、郵便物・FAX・会議室の予約の受付業務を行っています。

第8期の2年間に、実践活動グループの枠を超えた、委員同士の情報交換や親睦の場となることを夢見ていましたが、実現できず残念です。

それぞれお忙しい中、ビジョン室管理運営チームを盛り上げていただいた皆さまに感謝申し上げます。第9期もビジョン室でお会いしましょう!



情報発信！ビジョンスポークスマン活動を紹介



東播磨地域
ビジョン委員会
PR活動報告

「ビジョンフェスタ in 東播磨」を開催しました。

東播磨地域ビジョン委員会では、ビジョンとその実現に向けた取組の普及啓発を図るためさまざまな情報発信活動を行っています。1月28日(日)、東播磨地域ビジョンの認知度向上とより多くの住民の地域づくり活動への参画をめざして、ニッケパークタウン本館1F センタープラザで「ビジョンフェスタ in 東播磨」を開催しました。

ステージイベント

東播磨地域で活躍する7団体が、踊りや演奏を披露し、会場は大いに賑わいました。



出演団体一覧

- フラメンコサークル La Fuente・
- New-Cure・踊っこひおか・
- ダンシングチームKIRARA・
- コトリ木/藤木信希・クールアザレ・
- いなみ野学園OBベルクラブ



体験ブース

職業体験や論語カルタ大会、投網の体験教室、ものづくり体験教室など、東播磨の地域づくりを実践する活動を体験していただきました。



投網でぬいぐるみの魚を捕まえました！



大工体験



論語カルタ大会



針金を使ったミニチュア自転車づくりにチャレンジ！



展示ブース

東播磨地域ビジョン委員会の取組を紹介するパネルのほか、防災・減災グッズの展示を行いました。



液化化現象の説明



防災・減災グッズの展示



マップ「さわやかサイクリング 東はりま南回廊」の紹介

「ビジョンフェスタ in 東播磨」を終えて

委員会発足以来、初の取組として開催した「ビジョンフェスタ in 東播磨」。無事盛会のうちに終ることができました。これもひとえに、皆さまのおかげと、心より感謝しています。これからも引き続きよろしくお願いたします。

地域ビジョン委員会活動の傍ら、地域づくり活動として、加古川駅南子育てプラザで「むすんでひらいて」（毎月第2水曜日）と、あかし子育て支援センターで「おもちゃ箱」（毎月第2土曜日）を開催しています。これらは、子育て支援学習講座を修了したシニアボランティアが、就学前の子どもたちとその保護者を対象に、童謡を歌いながらの手遊びや工作、絵本の読み聞かせを行うなど、みんなで時間を共有して、楽しく遊んでいます。毎月季節感を意識して実施し、子どもたちの笑い声を聞きながら、私たちも楽しんでいます。



みんなであそぼう!



エプロンシアター in ビジョンフェスタ

このたび、ニッケパークタウン（加古川市）で委員会主催の「ビジョンフェスタ in 東播磨」が開催されるに当たり、皿回し・紙トンボの工作や、エプロンシアターのブースを出展し、一緒に活動することができました。さまざまな地域活動と連携することで、お互いの活動に刺激を与え合い、相乗効果が生まれるかもしれません。皆さん、多方面で活躍されていることと思います。このような連携がもっとあつたら良いですね。

【東播磨地域ビジョン委員 小山 博】

きらつとコラム

～実現に向けて～

全国的に、少子高齢化や人口減少に加え、生活全般にわたる安全安心への強い希求、地球温暖化防止に対する意識の高揚など、社会構造の大きな変化に直面しています。そうした中、加古川商工会議所建設部会では2年半前から、みんなで知恵を出し、協力・努力し合い、“みんなが生き生きと暮らせるふるさと創り”を築き上げようと、『地域創生 オール市民で加古川イキイキふるさと創り』のためのワークショップを開催し、「まちづくり」「少子化対策」「教育問題」「空き家対策」「定住対策」のテーマ・分科会に分かれて、意見を出し合いながら、課題解決に向けたアイデアを交換しています。そして、いよいよその実現に向けた活動も視野に入れていくところです。

このワークショップには、地域ビジョン委員の皆さまも、多数のご参加をいただいています。活動の場は違えど、「地域をより良くしたい」という想いは同じではないでしょうか。みんなが住みたいふるさとの実現に向けて、お互いに多彩な活動を展開していきましょう。

【加古川商工会議所建設部会会長 前川 容洋】



東播磨地域ビジョン委員会 facebook で情報発信!



ビジョン委員会の取組を随時紹介しています。
ご覧いただいた方は、ぜひ「いいね!」を押してください。

Facebook 東播磨地域ビジョン委員会

検索

